

防災行政無線
テレホンサービス

放送内容を聞き逃したときなどは…
すぐみなひなん
0120・49・3717

この番号に電話をかけることで、放送内容を確認
することができます。
※藍メールやYahoo! 防災速報、町ホームページで
も確認できます。

藍住町WEB版
ハザードマップ

いつでもどこでも、災害リスクや避難場所を確認

<https://www.town.aizumi.lg.jp/hazardmap/>



防災あいずみ

令和6年1月15日発行 第43号

発行元：藍住町総務企画課危機管理室

電話637-3111

あいずみ防災フェス

昨年10月、町民の皆さんに防災について気軽に楽しく学んでいただくため、「あいずみ防災フェス」を開催しました。

約900人の皆さんに来場していただき、会場内でさまざまなイベントを体験してもらいました。

今後も、多くの町民の皆さんに防災について関心を持っていただけるようさまざまな取組を行っていきます。



小学校で出前講座

学校の授業で防災学習に取り組んでいる小学4年生の児童を対象に防災出前講座を開催しました。

この講座は、発生が懸念されている大規模災害に備えるため、災害の原因や影響、災害に備える方法を学び、災害に対する理解を深めるとともに、自助・共助の意識を養うことを目的に開催しました。

また、実際に避難所で使用するパーティションや折りたたみベッドの見学、簡易トイレの使い方のデモンストレーションを実施し、避難所生活を体験してもらいました。

参加した児童からは、「初めて知る内容が多くとても勉強になった」、「家に帰って非常持出品を確認する」などの感想をいただきました。



防災意識向上プロジェクト講演会

昨年11月、東小学校で、宮城県石巻市の一般社団法人石巻震災伝承の会代表理事 大須武則さんを語り部としてお招きし、東日本大震災講演会を開催しました。感染症対策のため、オンラインでの開催となりましたが、児童及び教職員の約250名が参加しました。



東小学校の校区が南海トラフ巨大地震による津波浸水区域となっていることから、防災意識の向上を目的に行い、東日本大震災時に宮城県石巻市で起きたことを、実体験に基づき講演していただきました。参加した児童からは、「教科書では学べないことや、地震や津波による被害の大きさを学ぶことができた」等の感想があり、災害について他人事ではなく自分事として捉える機会になったと考えています。

この講演会は、消防庁主催の「防災意識向上プロジェクト」による語り部派遣事業を活用して実施しました。

りさい 罹災証明書と被災証明書について

地震や台風、大雨などの自然災害により家屋が損壊し、保険会社等へ損害保険金を請求するときには、ほとんどの場合で罹災証明書等が必要となります。

「罹災証明書」又は「被災証明書」の交付を受けようとする方は、原則、罹災後1か月以内に、「罹災証明書等交付申請書」で町へ申請してください。

● 罹災証明書と被災証明書の違い

① 罹災証明書

災害による住家及び非住家について、町が現地調査又は確実な証拠により確認した罹災の程度を証明するもの

② 被災証明書

災害による罹災証明に係るものを除いた対象物件について、罹災の状況を町長に届け出た事実を証明するもの

なお、この罹災証明書等は、民事上の権利義務関係に効力を有するものではありませんので、ご注意ください。

詳細については、町ホームページをご覧ください。詳しくは、総務企画課危機管理室までお問い合わせください。



自分たちの地域は自分たちで守る



地域の皆さんで自主的に防災活動を行う組織「自主防災組織」。そこでは災害時に地域や近隣の方が互いに協力し合うことができるように防災出前講座や防災訓練などを実施しています。普段行っている自主防災組織の活動の一例を紹介します。

町では地域防災力を高めるため、自主防災組織の活動をさまざまな形で支援しています。詳細については、総務企画課危機管理室までお問い合わせください。

(令和5年1月から12月の活動状況)

実施月	活動内容	活動組織
1月	消火ホース格納箱の点検・放水訓練	西前川自衛消防隊
2月	老人福祉施設との地震避難合同訓練	小塚団地自主防災組織
5月	防災出前講座(自主防災活動について)	宮内自主防災団
	防災出前講座(ハザードマップについて)	安任自主防災隊
	防災資機材の点検・消火訓練	名田防災会
	消火ホース格納箱の点検・ホース延長訓練	名田団地自衛消防隊
	防災資機材の点検・放水訓練・消火訓練	新居須自主防災組織
7月	防災出前講座(自主防災活動について)	成瀬南団地自主防災隊
	普通救命講習Ⅰ受講	新居須自主防災組織
8月	防災出前講座(ハザードマップについて)	徳命東・西自治会自主防災会
10月	防災資機材の点検・放水訓練・消火訓練	徳命東・西自治会自主防災会
12月	防災資機材の点検・放水訓練・消火訓練	すみよし団地自主防災隊
	ホース延長訓練・消火訓練	安任自主防災隊
	炊出し訓練	宮内自主防災団
	防災出前講座(ハザードマップについて)	宮内自主防災団

「コミュニティ助成事業」で地域の防災力アップ

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を実施しています。



徳命東・西自治会自主防災会では、このコミュニティ助成事業を活用して、災害に備えた地区の防災力強化を図るため、災害対応資機材を整備しました。平常時から住民が防災訓練等で防災資機材を実際に使用し、災害が起きた時でも有効に防災資機材を活用できることが期待されます。



火災から命を守るために

令和4年中(1月から12月まで)の全国総出火件数は、36,314件で、死者数は1,452人でした。これは、おおよそ1日あたり99件、14分に1件の火災が発生したことになります。また、町内では令和4年中に2件の火災が発生しています。

住宅火災の出火原因について多い順に **こんろ、たばこ、電気機器、配線器具、ストーブ**と気を付ければ防ぐことができる火災が多いことがわかります。

特に冬場は火災が増加します。火災予防チェックシートを利用して、火災を防止しましょう。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント ～3つの習慣、4つの対策～

- **3つの習慣**
 - ①寝たばこは、絶対やめる
 - ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
 - ③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- **4つの対策**
 - ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
 - ②寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する
 - ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する
 - ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

火災予防チェックシート

①こんろ	<input type="checkbox"/> こんろの周りに燃えやすいものを置いていないか <input type="checkbox"/> こんろの使用中にそばを離れる場合は必ず火を消しているか <input type="checkbox"/> ガスホースは劣化していないか <input type="checkbox"/> 換気扇は掃除されているか <input type="checkbox"/> 近くに消火用具は設置してあるか	
②たばこ	<input type="checkbox"/> 寝たばこはしていないか <input type="checkbox"/> 灰皿に吸殻は溜まっていないか ※努めて水を入れましょう <input type="checkbox"/> 吸殻は完全に火が消えているか ※捨てるときは水につけてから	
③電気配線器具	<input type="checkbox"/> 使用しているコンセントにほこり等が付着していないか <input type="checkbox"/> タコ足配線はしていないか <input type="checkbox"/> 電気ランプ等、熱をもつ電気器具の上でタオル等を干していないか <input type="checkbox"/> 壊れた又は壊れそうな電気器具を使用していないか ※コードの劣化	
④ストーブ	<input type="checkbox"/> カーテンや家具等、燃えやすいものの近くにストーブを置いていないか <input type="checkbox"/> ストーブの上に洗濯物を干していないか <input type="checkbox"/> ストーブに給油するときは、必ず火を消してから行っているか <input type="checkbox"/> 給油する燃料は間違いないか	